

第2章 かつらぎ町の現状

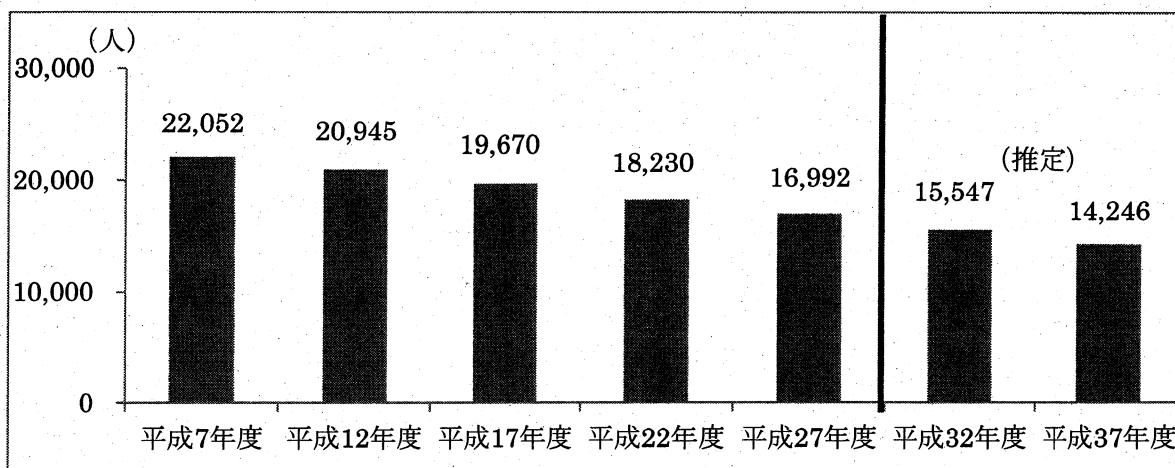
1. 統計データから見るかつらぎ町

(1) 人口・世帯の状況

① 総人口

総人口は平成7年度から一貫して減少傾向にあり、この傾向が続くと、平成37年度には14,246人まで人口が減少すると見込まれています。

第4次かつらぎ町長期総合計画において定められている「平成34年度までに16,000人の人口規模をめざす」ために、若年層の定住を促進しています。

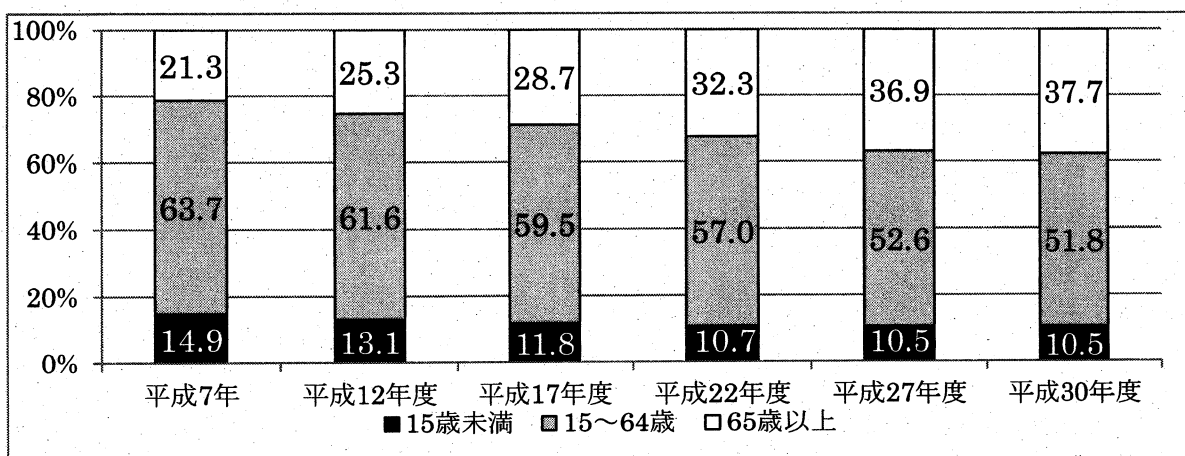


注：平成17年度以前は「旧かつらぎ町」「旧花園村」の合計値。また、平成32年度以降は「第4次かつらぎ町長期総合計画」に挙げる人口推計値である。

資料：国勢調査、第4次かつらぎ町長期総合計画

② 年齢別人口割合

年齢別人口では、15歳未満人口の減少と65歳以上人口の増加が顕著であり、約3人に1人が高齢者である一方で、子どもは約10人に1人となるなど、少子高齢化が進行していることがわかります。



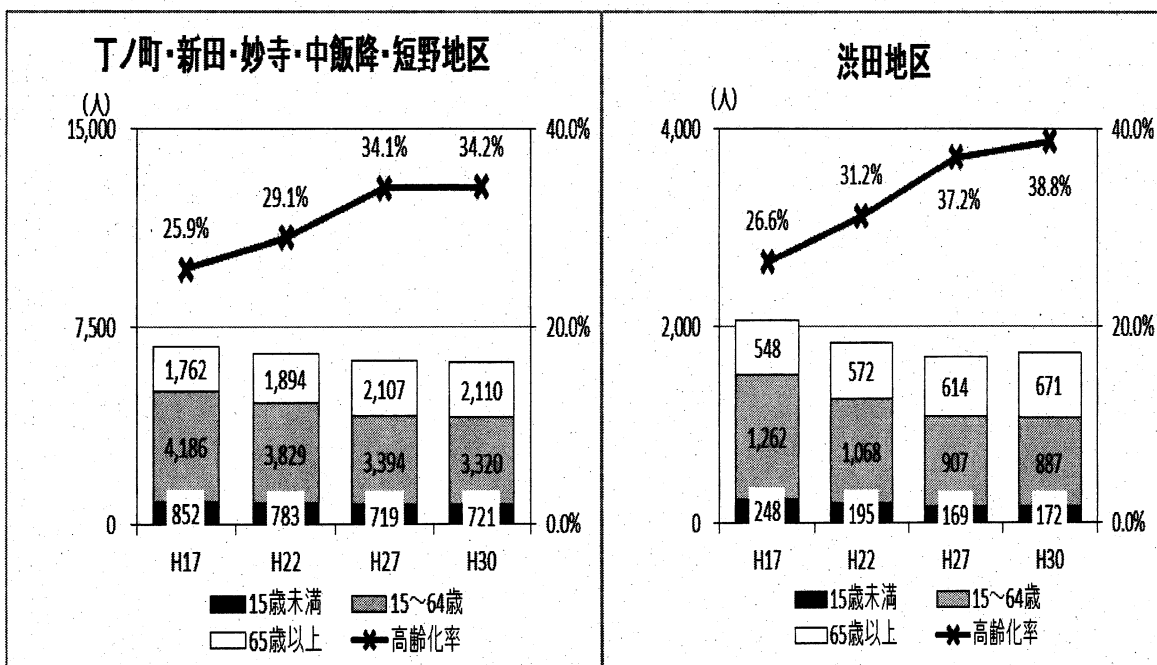
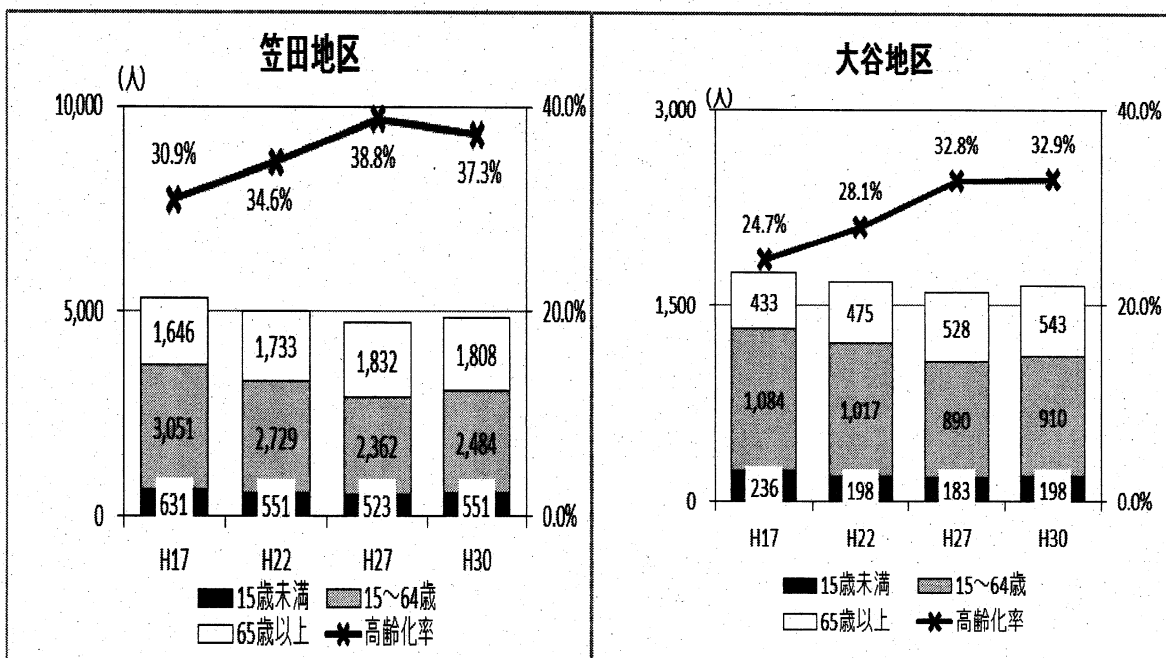
注：小数点第2位以下四捨五入のため、合計が100%とならないことがある。また、平成17年度以前は「旧かつらぎ町」「旧花園村」の合計値である。

平成7年度～平成27年度は、各年度10月1日の値。平成30年度は4月1日の値。

資料：国勢調査、かつらぎ町住民福祉課資料

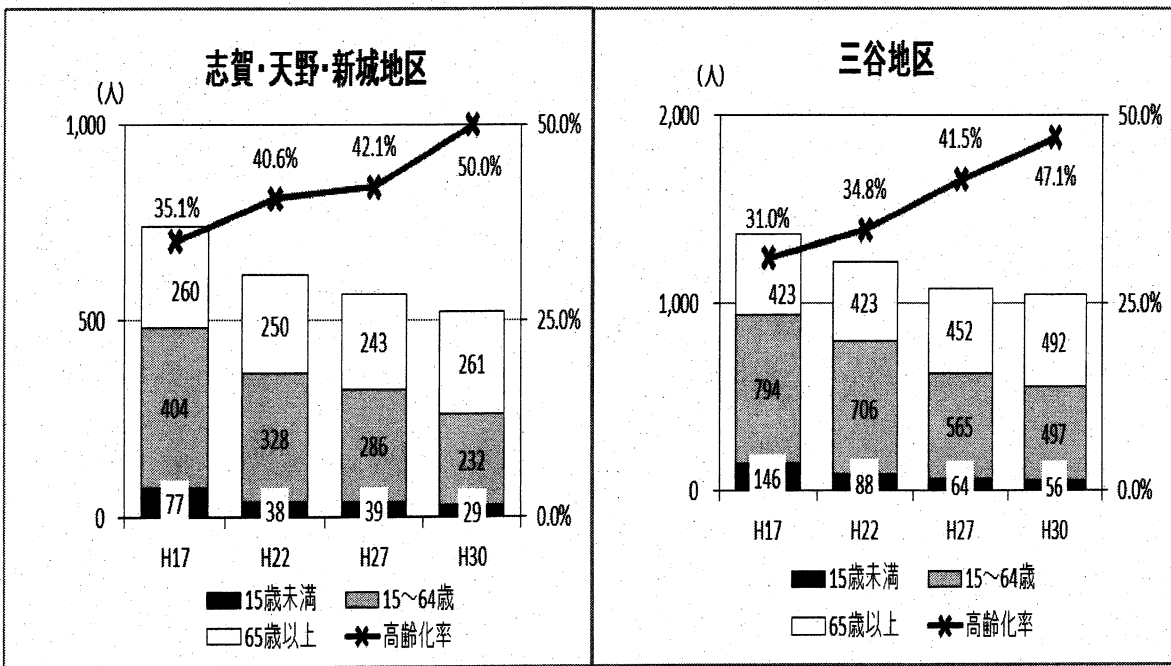
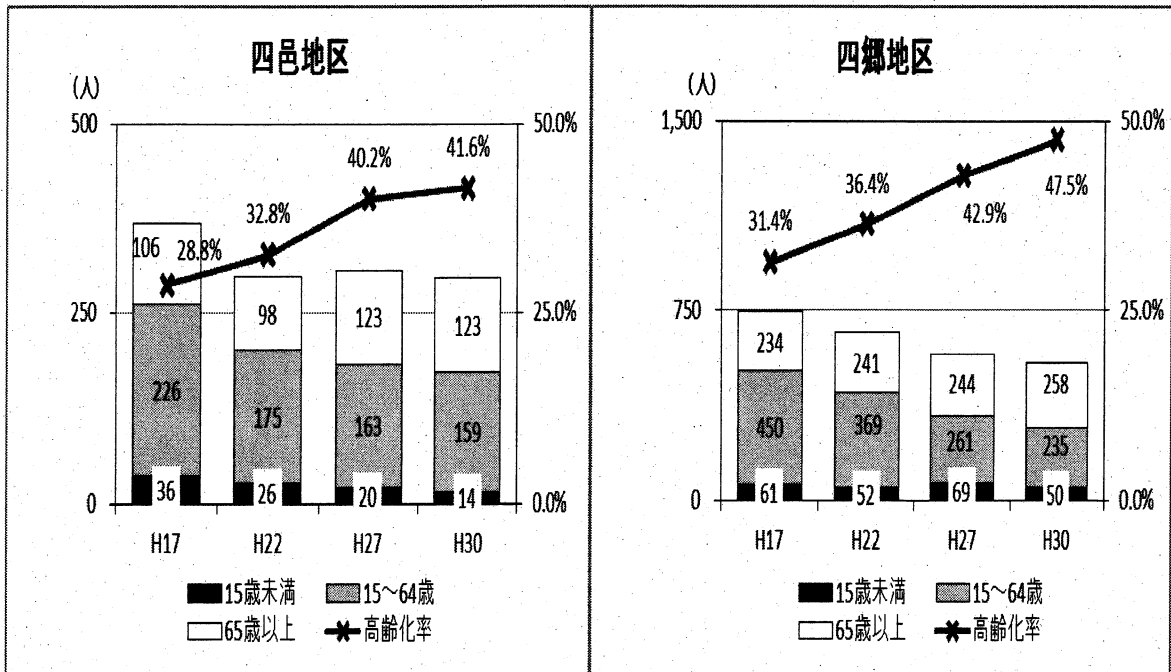
③ 各地区の人口

かつらぎ町の各地区における高齢者人口の推移及び高齢化率は以下のようになっています。地区ごとに多少の差異があるものの、かつらぎ町全体の傾向と同じく、各地区ともに少子高齢化の進行がみられます。



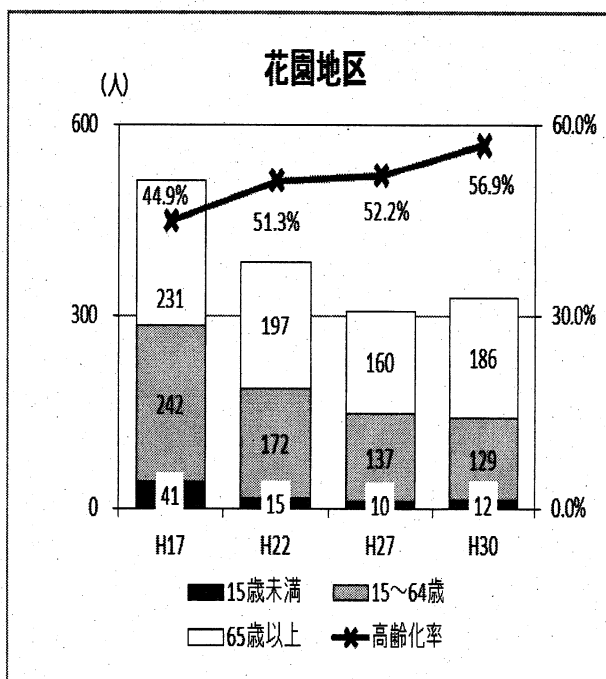
注：H17～H27は、各年10月1日の値。H30は4月1日の値である。

資料：国勢調査、かつらぎ町住民福祉課資料



注：H17～H27は、各年10月1日の値。H30は4月1日の値である。

資料：国勢調査、かつらぎ町住民福祉課資料

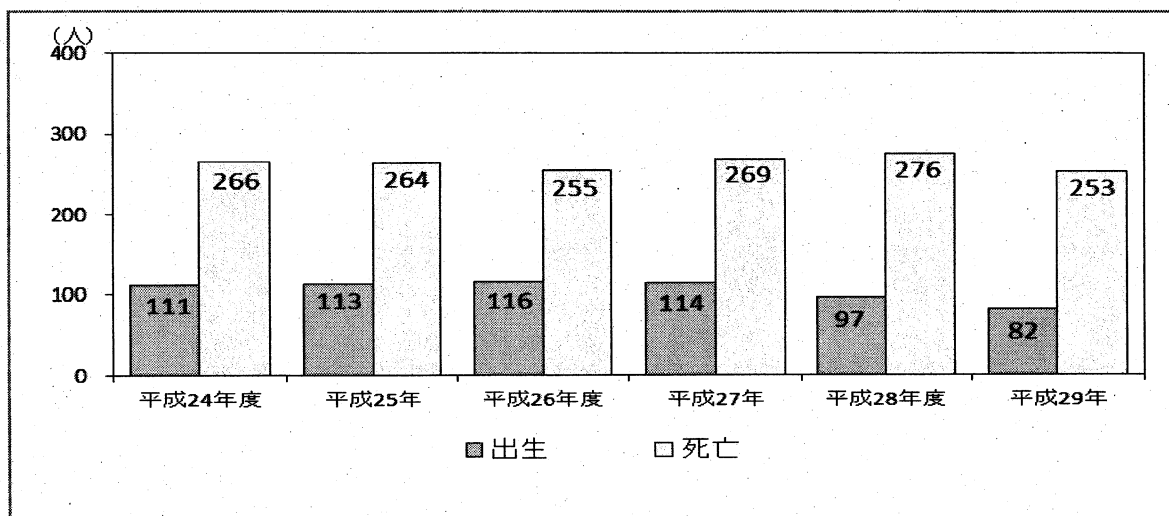


注：H17～H27は、各年10月1日の値。H30は4月1日の値である。

資料：国勢調査、かつらぎ町住民福祉課資料

④ 自然動態人口（出生・死亡）

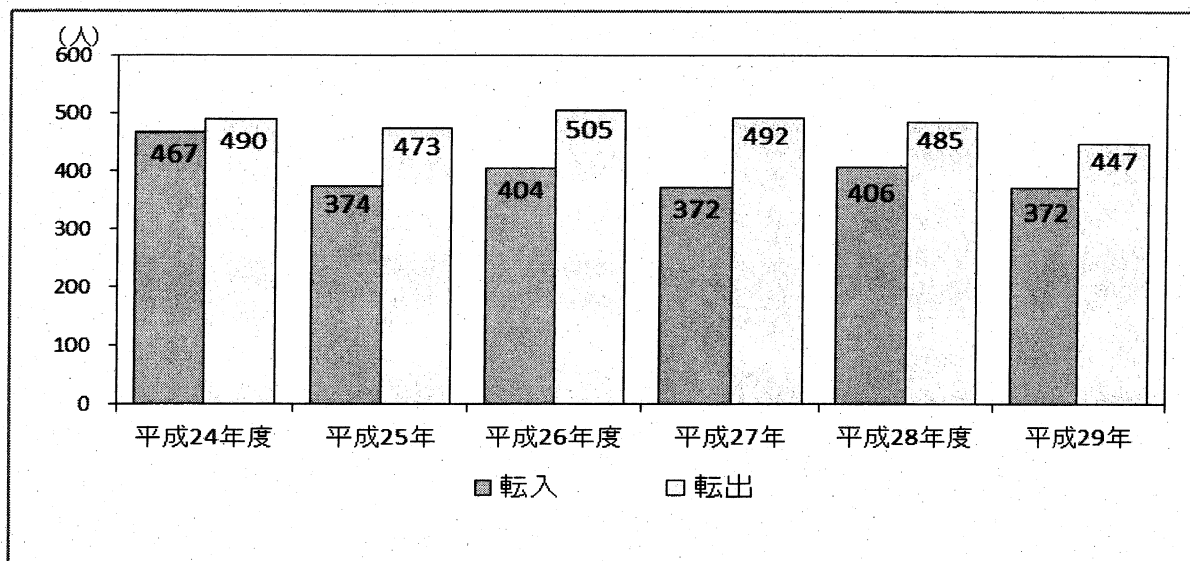
自然動態人口については、平成24年度から平成27年度にかけて出生数がほぼ横ばいで推移し平成28年度から減少傾向となっている。死亡数は増減を繰り返しながら推移していますが、いずれの年度も死亡数が出生数を上回っています。



資料：住民基本台帳

⑤ 社会動態人口（転入・転出）

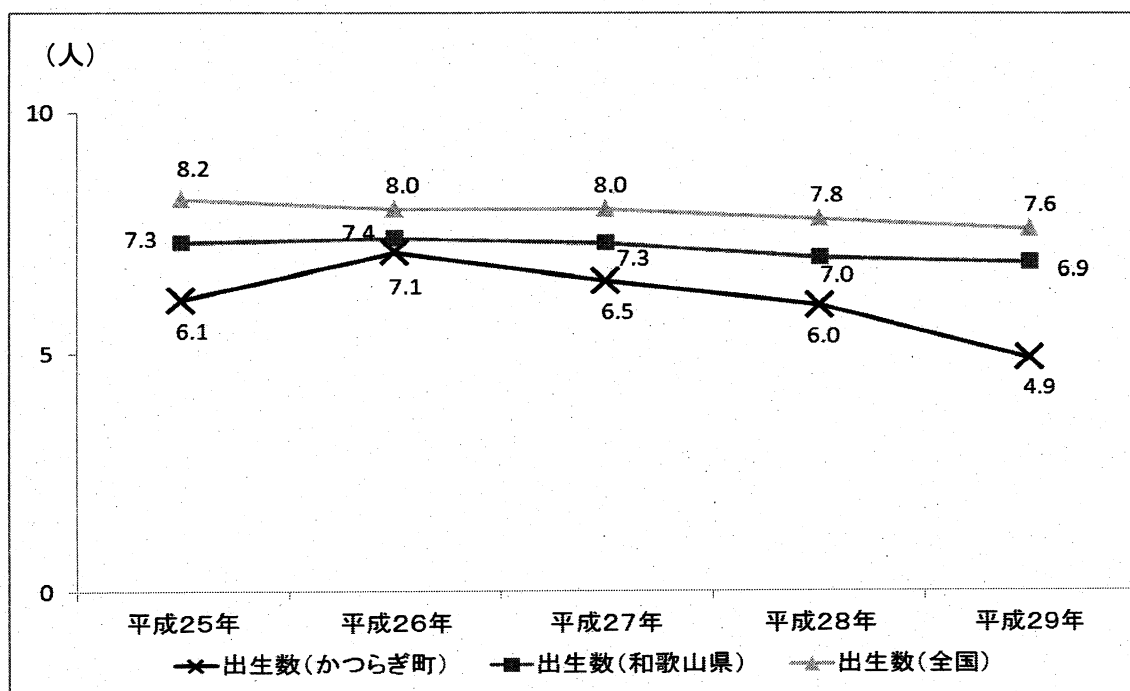
社会動態人口については、いずれの年度も転出数が転入数を上回っています。



資料：住民基本台帳

⑥ 人口1,000人当たりの出生数

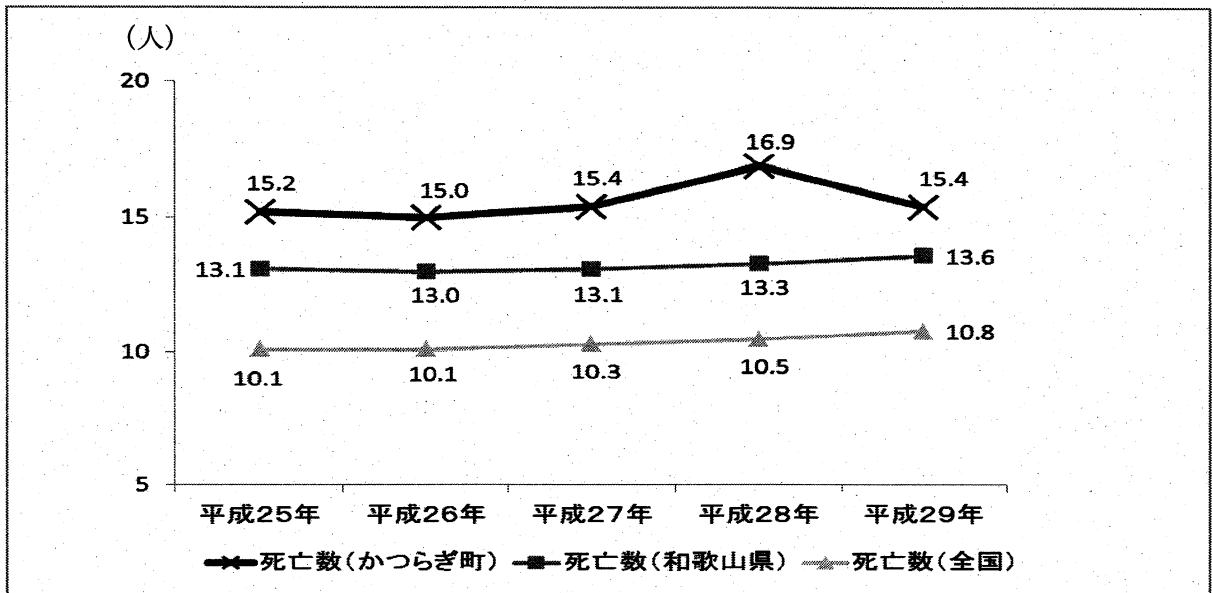
人口1,000人当たりの出生数の推移を、かつらぎ町、和歌山県、全国で比較すると、平成25年から平成29年にかけてかつらぎ町はいずれの年も和歌山県、全国を下回っており、平成27年より減少傾向にあり町内の人口減少や高齢化の一因となっています。



資料：住民基本台帳

⑦ 人口1,000人当たりの死亡数

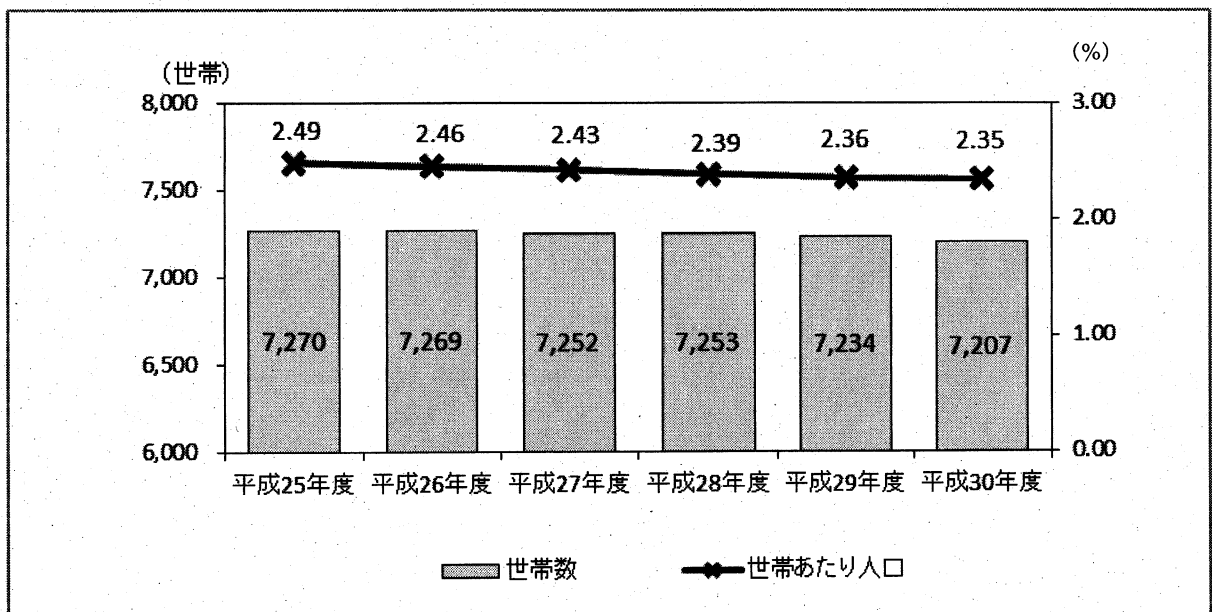
人口1,000人当たりの死亡数の推移を、かつらぎ町、和歌山県、全国で比較すると、平成25年度から平成29年度にかけてかつらぎ町の死亡数は増減しているものの、和歌山県、全国を上回っています。



資料：住民基本台帳

⑧ 総世帯数

総世帯数に関しては、人口減少とともに平成25年度から減少傾向にあり、1世帯当たりの人口も減少しながら推移しています。

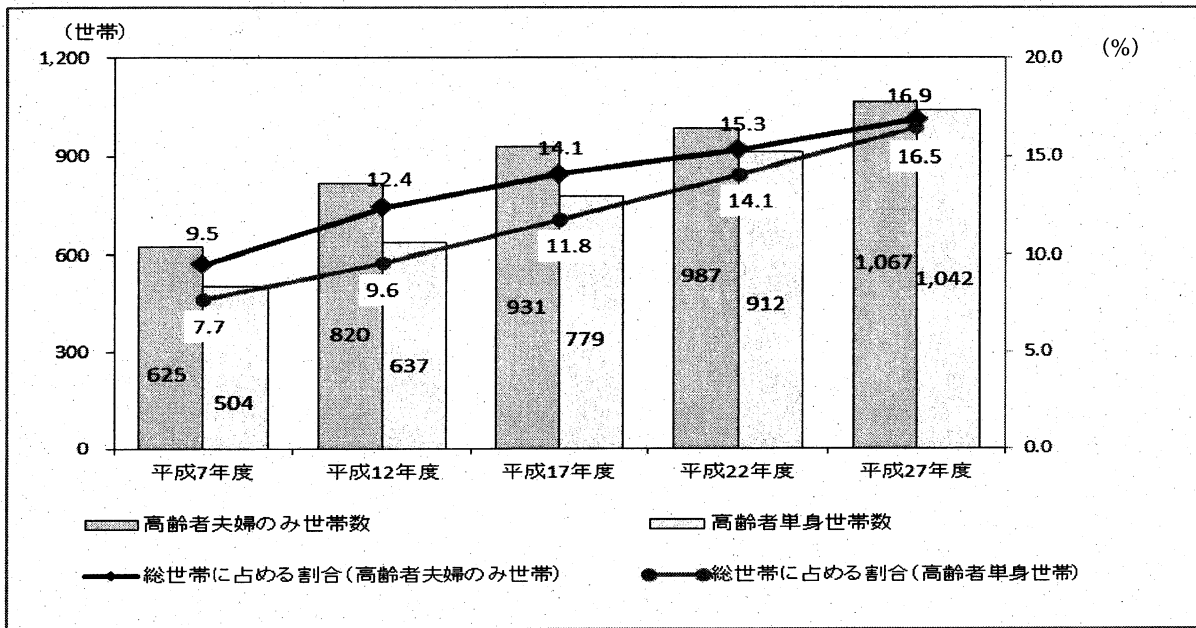


注：平成25年度から平成28年度は各年度3月31日の値。平成30年度は12月1日の値。
資料：住民基本台帳、かつらぎ町住民福祉課資料

(2) 高齢者の状況

① 高齢者世帯数

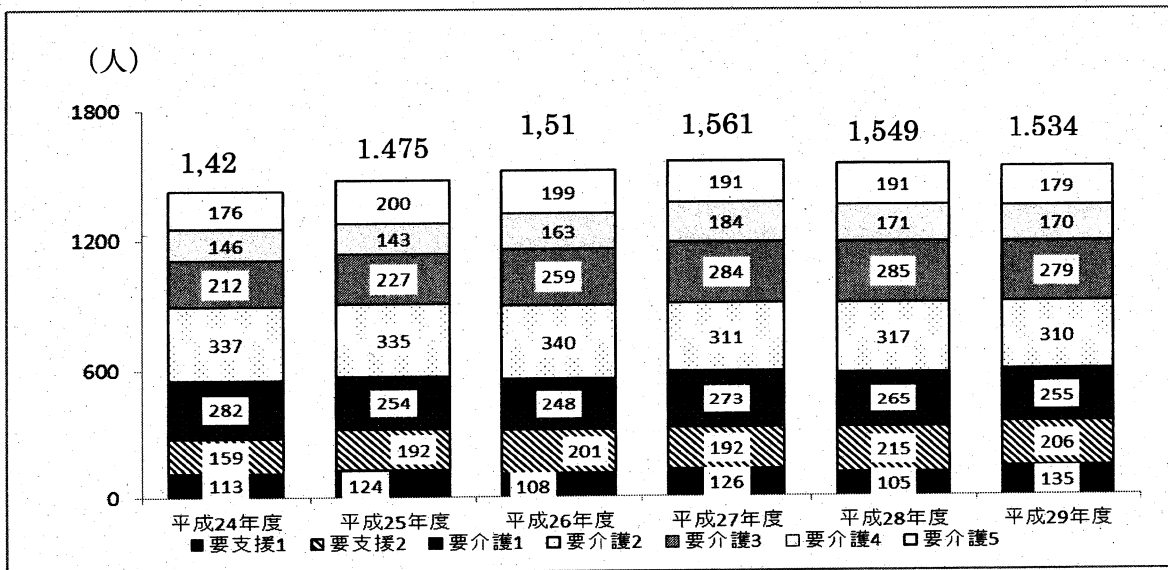
平成7年から平成27年までに高齢者夫婦のみ世帯数、高齢者単身世帯数ともに増加しながら推移しており、それに伴い総世帯数に占める割合も増加しています。



資料：国勢調査

② 要介護認定者数

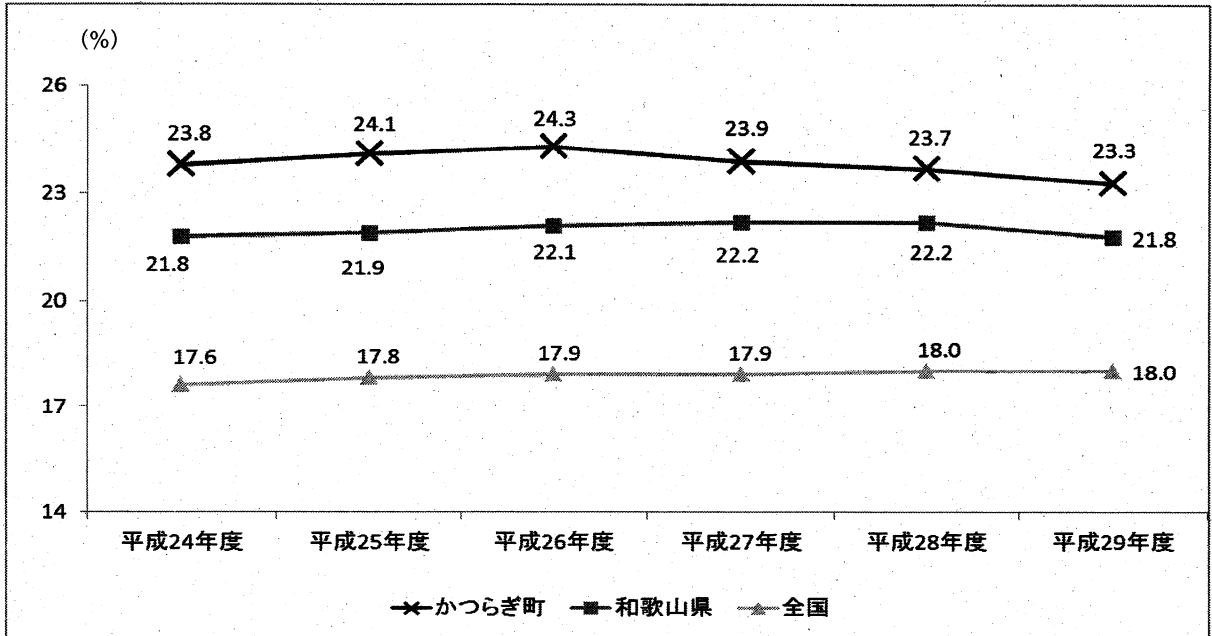
高齢者の増加に伴い、要介護認定者数も平成24年度から平成27年度にかけて増加し、平成28年度からは横ばいで推移しています。



資料：介護保険事業状況報告（各年3月末）

③ 要介護認定率

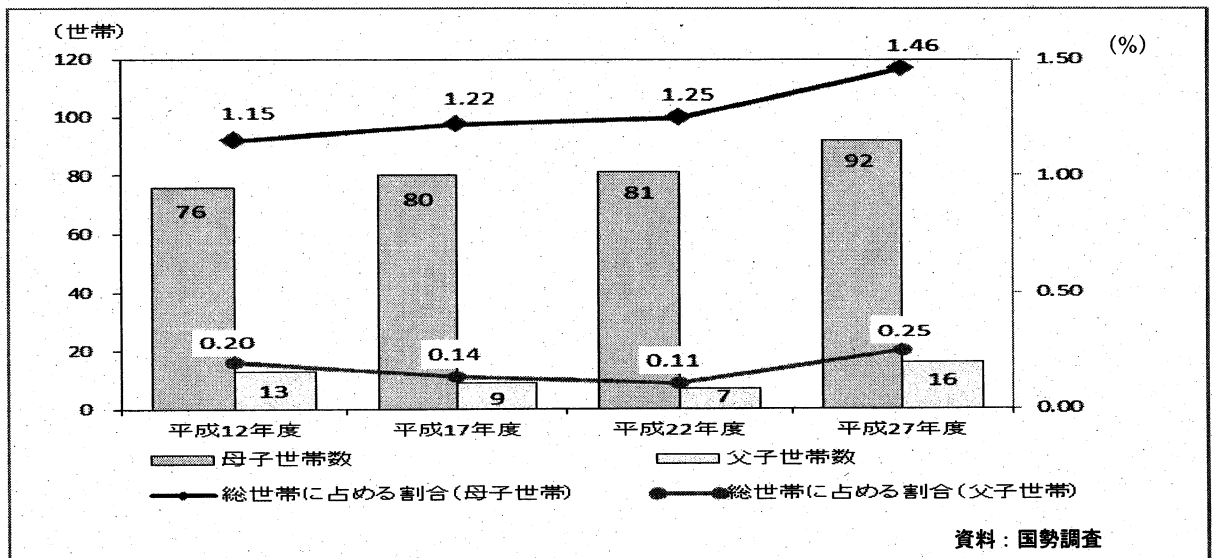
要介護認定率の推移をみると、平成24年度から平成29年度にかけて、和歌山県や全国の割合を上回りながら推移しています。平成27年度からは和歌山県や全国と同様に緩やかに認定率は低下して推移しています。



資料：介護保険事業状況報告（各年3月末）

(3) ひとり親世帯数

かつらぎ町のひとり親世帯数の推移では、母子家庭数が平成12年度から平成27年度にかけて増加しながら推移し、父子家庭については平成22年度から平成27年度にかけて約2倍近く増加している。総世帯数の減少に伴い、総世帯数に占める割合も増加しています。



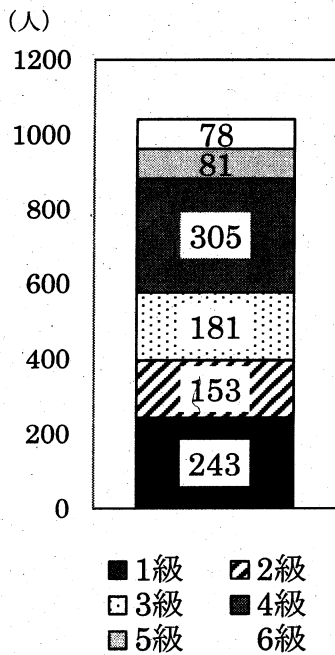
資料：国勢調査

(4) 障害者手帳交付数

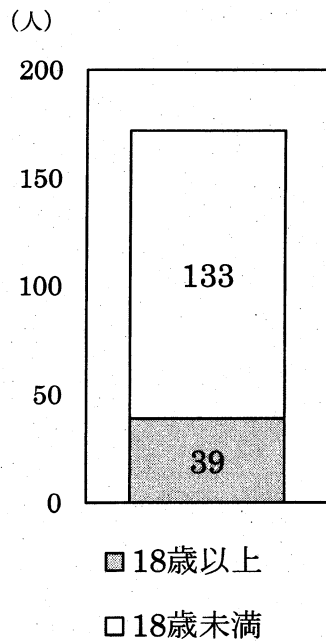
平成 29 年度の障害者手帳交付数は、以下のようになっています。

また、障害者総合支援法による障害福祉サービス利用者は 147 人、児童福祉法による障害児通所支援の利用者は 74 人となっています。

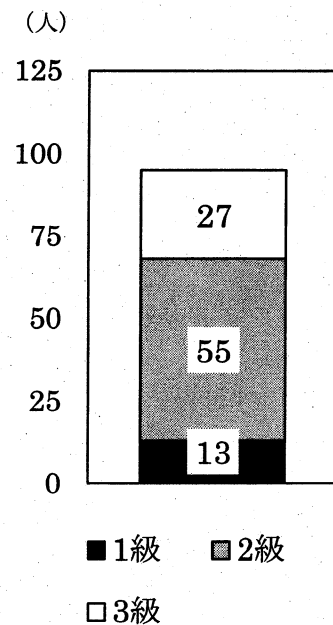
身体障害者手帳所持者数
(平成 30 年 3 月 31 日)



療育手帳所持者数
(平成 30 年 3 月 31 日)



精神障害者保健福祉手帳所持者数
(平成 30 年 3 月 31 日)



資料：かつらぎ町住民福祉課資料

(5) 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員の方による、町内の世帯数・人数の調査結果によると、高齢者の一人暮らし世帯数は1,002世帯、高齢者世帯が651世帯、在宅寝たきりの方のいる世帯は31世帯、災害などによる避難時に特別な援護が必要な高齢者（避難行動要支援者）がいる世帯は283世帯となっています。

調査対象（平成30年9月1日現在）	対象世帯数（世帯）	対象人数（人）
一人暮らし調査	1,002	1,002
高齢者世帯調査	—	651
在宅ねたきり	31	31
要援護者（避難行動要支援者）世帯調査	283	283
合計	1,316	1,967

注：世帯数、人数は調査によって把握された数値である
資料：民生委員・児童委員の調査結果より